

ベナン月報(2014年11月)

主な出来事

【内政】

- 17日から19日、昨年11月にコトヌ市と交流協力宣言を発表した横浜市が、ベナンを訪問し、ソグロ・コトヌ市長やヤイ大統領と会談した他、各種の視察を行った。
- 20日、カンデ・ガザル保健大臣は、ベナン北部のタンギエタの病院において5名の医療従事者が死亡した問題について、死亡者のうち2名の死亡原因はラッサ熱である旨認定したと発表した。27日、2名の確定患者を含む15件の症例が確認されている旨保健省より発表された。そのうち、9名は死亡した。

【外政】

- 3日、第64回WHOアフリカ地域閣僚会合に出席するため、チャンWHO事務局長がベナンを訪問した。
- 11日、ヤイ大統領はカタールを訪問し、Cheick Tamin Bin Hamad Al Thani国王と会談した他、Mohammed Bin A. Bin Towarカタール商工会議所副代表と意見交換を行った。
- 21日、ヤイ大統領はマラボで開催された第2回アフリカ・トルコサミットに出席した

【経済】

- 3日から7日、コトヌにおいて第64回WHOアフリカ地域閣僚会合が開催された。
- 日本の平成25年度食糧援助による約7,000トンの米がコトヌ港に到着し、11日、塚原駐ベナン大使、アソバ産業・商業・中小企業大臣及びゾマホン駐日ベナン大使出席の下、引渡式がコトヌ港において実施された。

※下記内容は、La Nation 紙、Le Matinal 紙、L'Événement Précis 紙、La Nouvelle Tribune 紙及び L'Autre Quotidien 紙の記事を元に記載したものです。

【内政】

- ・ 10月29日、民主勢力グループ(Forges démocratiques)が、恒久電子化選挙人名簿(LEPI)に代わる選挙人名簿の作成、及び早期の地方選挙実施を求めて、デモ行進を実施した(3日、Le Matinal紙)。
- ・ 10月31日、ヤイ大統領は27日の閣議決定を受け、LEPIの改訂及び地方選挙の早期実施を諮るため、LEPI指導監督評議会(COS/LEPI: Conseil d'Orientation et de Supervision de LEPI)メンバー及び国家独立選挙委員会(CENA)委員長を含む行政・司法機関の長を大統領府に招集し、協議を行った(3日、La Nation紙)。
- ・ 2日、バニコアラ市役所に強盗が入り、約30万FCFAが盗まれた(3日、Le Matinal紙)。
- ・ 3日、ベナン政府と中国企業の半官半民企業であるベナン砂糖公社(SUCOBE)の従業員らが、賞与及び給与の一部未払い金の支払を求めて、中国人経営者らと意見交換を行った。労働者らは、状況が改善されなければストライキを敢行する旨訴えた。アソバ(Mme Françoise Abraoua ASSOGBA)産業・商業・中小企業大臣が事態の鎮静化のため現地へ赴

き、労働者との意見交換が行われた(5日, La Nation紙)。

- ・ 5日, ヤイ大統領は, 再度, COS/LEPIのメンバー及び行政・司法機関の長と意見交換を行い, 11月10日にLEPIの補完登録作業を開始する旨決定した(7日, La Nation紙)。
- ・ 7日, アジャラにおいて, 強盗と警察官の間で銃撃戦が発生し, 強盗6名が射殺された(10日, Le Matinal紙)。
- ・ 同日, パウにおいて児童売買を行っていたとして, 5人の男が逮捕された(7日, Le Matinal紙)。
- ・ 10日, ヤイ大統領は, LEPIに関する国民向けメッセージを発表し, 12日からLEPIの補完登録作業を開始する予定である旨, 及び12月17日にCOS/LEPIが補完登録作業の結果を踏まえたLEPIを発表する予定である旨伝えた。その後, LEPIの補完登録作業開始は, 11月17日に延期された(11日, La Nation紙)。
- ・ 同日, ヤイ大統領は, 綿花産業従事者らとワークショップを開催し, 2014年から2015年の政府による綿花最低買取り価格については, 綿花の国際市場価格が低下しているため, 生産者の主張する265FCFA/Kgで設定することは難しい旨説明した。また, 同価格で設定した場合, 政府は340億FCFAの補助金を支出しなければいけない旨付言し生産者に理解を求めた(11日, La Nation紙)。
- ・ 17日から19日, 昨年11月にコトヌ市と交流協力宣言を発表した横浜市が, ベナンを訪問し, ソグロ(M. Nicéphore Dieudonné SOGLO)コトヌ市長やヤイ大統領と会談した他, 各種視察を行った(19日, La Nouvelle Tribune紙, L'Autre Quotidien紙)。
- ・ 18日, セメ・クラケにおいて46キロのコカインを積んだ車が発見され, ベナン人2名が逮捕された(18日, Le Matinal紙)。
- ・ 20日, 政府による綿花の最低買取り価格が250FCFA/Kgに決定した(27日, La Nouvelle Tribune紙)。
- ・ 21日, パラクのベナン・ビール醸造公社(SOBEBRA: Société Béninoise de Brasseries)に強盗が入り, 一人の従業員が殺害された他, 1600万FCFAが盗まれた(24日, Le Matinal紙)。
- ・ 20日, カンデ・ガザル(Mme Dorothée Akoko KANDE GAZARD)保健大臣は, ベナン北部のタンギエタの病院において5名の医療従事者が死亡した問題について, 死亡者のうち2名の死亡原因はラッサ熱である旨認定したと発表した。27日, 2名の確定患者を含む15件の症例が確認されている旨保健省より発表された。そのうち, 9名は死亡した(21日, La Nation紙, 28日, L'Autre Quotidien紙)。
- ・ 22日, コトヌ市近郊のアプロガンダンにおいて, 警察による武装強盗の掃討作戦が行われ, 被疑者5名が殺害され, 1名が逃亡した。被疑者は, カラシニコフと改造銃で武装していた(24日, La Nation紙)。

【外政】

- ・ 3日, 第64回WHOアフリカ地域閣僚会合に出席するため, チャン(Mme Margaret CHAN) WHO事務局長がベナンを訪問した(4日, La Nation紙, L' Autre Quotidien紙)。
- ・ 11日, ヤイ大統領はカタールを訪問し, Cheick Tamin Bin Hamad Al Thani国王と会談した他, Mohammed Bin A. Bin Towarカタール商工会議所副代表と意見交換を行った(12日, La Nation紙, 14日, Le Matinal紙)。
- ・ 21日, ヤイ大統領はマラボで開催された第2回アフリカ・トルコサミットに出席した(24日, La Nation紙)。

【経済】

- ・ 3日から7日, コトヌにおいて第64回WHOアフリカ地域閣僚会合が開催された。また, 5日, WHOアフリカ地域事務局長選挙が行われ, ボツワナのMatshido Rebecca Moeti氏が新しく, アフリカ地域事務局長に就任した。同選挙に, 同じく立候補していたマリのFatoumata Nafo Toraore氏及びベナンのカンデ・ガザル保健大臣も同氏の就任を歓迎した。(4日, La Nation紙, L' Autre Quotidien紙, 5日, La Nouvelle Tribune紙, 10日, L' Evénement Précis紙)。
- ・ 5日, 日本の草の根・人間の安全保障無償資金協力「ヘカメ中学校整備計画」の引渡式が実施され, 塚原駐ベナン日本国大使が出席した。供与額は, 5600万FCFAに上る。(19日, La Nouvelle Tribune紙)。
- ・ 8日, ミレニウム・ビレッジ・プロジェクトの一環で, ダンボ市に市場建物が建設され, ドゥ・スザ(M. Marcel Alain de SOUZA)開発・経済分析・未来計画大臣が落成式を実施した(11日, L' Autre Quotidien紙)。
- ・ 同日, 日本の見返り資金で建設されたチャアダ小学校の引渡式が実施され, 塚原駐ベナン日本大使及びドゥ・スザ開発相が出席した(10日, La Nation紙)。
- ・ 日本の平成25年度食糧援助による約7,000トンの米がコトヌ港に到着し, 11日, 塚原駐ベナン大使, アソバ産業・商業・中小企業大臣及びゾマホン(M. Rufin ZOMAHOUN)駐日ベナン大使出席の下, 引渡式がコトヌ港において実施された。供与額は, 約21億5000万FCFAに上る(12日, L' Evénement Précis紙)。
- ・ 14日, ヤイ大統領は, 世銀の支援で実施される若年者雇用支援計画の開始式に出席した。支援総額は, 175億FCFAに上る(17日, La Nation紙)。
- ・ 15日, アフリカ開発銀行の支援で実施される「ウエメ川流域農業インフラ建設支援計画」が開始し, ヤイ大統領がプロジェクト開始式に出席した。支援総額は, 355億FCFAに上る(17日, La Nation紙)。

(了)